

「課題曲クリニック」

学生広報委員 管楽器リペア科 2 年 坂元匠・村上円香



天野氏（左）と井上氏（右）をお迎えし、課題曲クリニックを開催。吹奏楽編成による楽曲の作曲・編曲も多く手掛けている天野氏と日本吹奏楽指導者協会副会長の井上氏のクリニックに総勢 100 名以上の方々がお越しくださいました。

創立 40 周年事業として

中部楽器技術専門学校は創立 40 周年を迎えました。その記念事業として、2019 年 6 月 8 日（土）「課題曲クリニック」を開催しました。天野正道氏を講師として、井上学氏をコーディネーターとしてお迎えし、天野氏からは、作曲家としての視点や課題曲の作曲者ご本人からお聞きした裏話など、普段聞くことができないお話を伺うことができました。さらに、天野氏と井上氏の掛け合いがとても軽快で興味深く、聞く者の心を惹きつける魅力があり、ご参加された吹奏楽部顧問の先生方や中高生の方々、一般の方々など、多くの皆さんが熱心にメモを取られていました。

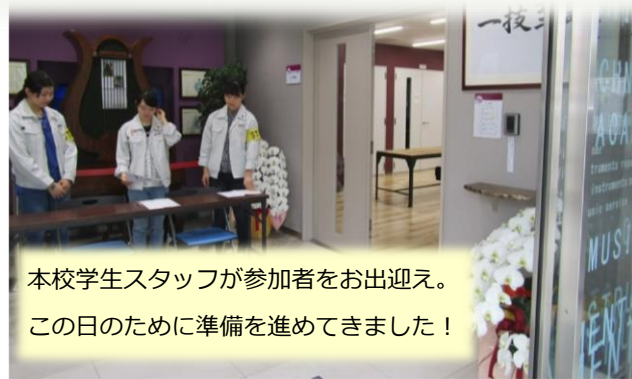
参加者の方々の喜びの声

「大変、楽しく拝聴させて頂きました。」「実践的で、和音や響きを熱心に話して頂いたことが、大変参考になりました。」「演奏技術のことだけでなく、作曲家の視点での話は面白かった。」など、充実した時間を過ごして頂きました。また、「パート毎にクリニックを開催して頂きたい。」「次回は、部員の生徒たちのためにモデルバンドを入れて頂きたい。」など、次回への期待もご意見として頂きました。



課題曲クリニックのようす

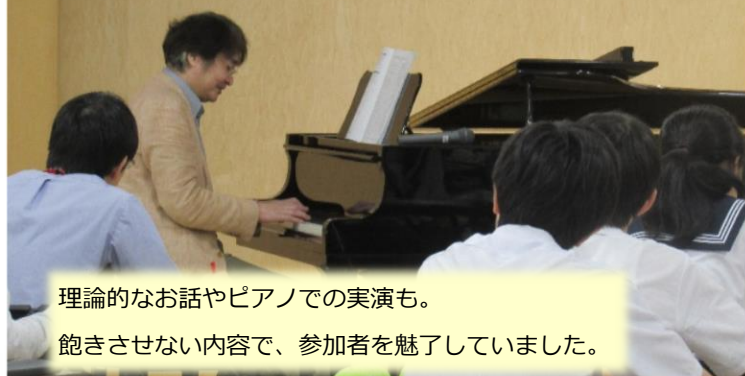
開始前には、学生スタッフとお話をして緊張がほぐれてきた中高生の方々♪



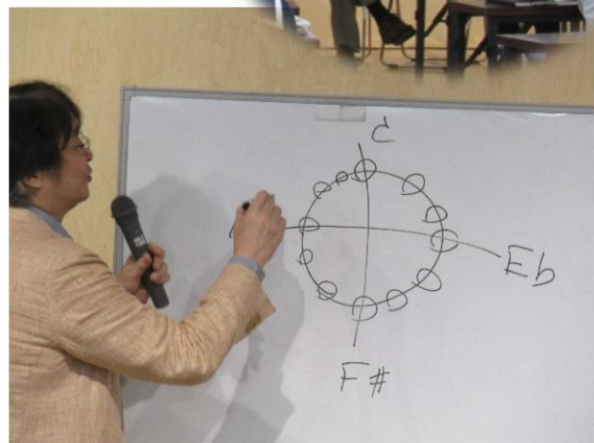
本校学生スタッフが参加者をお出迎え。
この日のために準備を進めてきました！



お二人のお話は、実践的で作曲家視点の内容で、大変興味深いものばかりです。



理論的なお話やピアノでの実演も。
飽きさせない内容で、参加者を魅了していました。



メンテナンス講習会のようす



参加者の現状を把握しながら、丁寧に笑顔を引き出しながらのメンテナンス講習会。演奏者を支える技術を体感し、技術者の大切さを改めて実感。



木管楽器や金管楽器、打楽器のメンテナンス講習会を開催。
本校学生による実演も。



取材を終えて・・・

天野氏は高校生に対し、「伝えたい」こととして『課題曲とはいえ、音楽であり、音を楽しんで演奏して欲しい。色々な想いを考えてみよう。』とおっしゃっていました。卒業後、管楽器リペアへの仕事につく私たちにも貴重なお話でした。

管楽器リペア科 2 年生 坂元・村上